



THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION NEWS

大阪青年



「だから、キリストと結ばれる人はだれでも、
新しく創造された者なのです。
古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた。」

(コリントの信徒への手紙 二5:17)



大阪YMCA
総主事
すえおか よしひろ
末岡 祥弘

— 創立135年の年を迎えて —

新年おめでとうございます。新しい年を皆様と共に喜びたいと思います。

昨年を振り返ると、熊本地震、世界各地でのテロ事件、核実験の実施、英国のEU離脱、障害者施設殺傷事件等、想像できなかった出来事が続きました。また、科学技術、グローバル化、AI・ソーシャルメディアの進歩等は社会の変化を加速し、地球そのものも気候変動、人口過剰、食糧危機、海洋汚染など複雑な問題を抱えています。そのような中において、YMCAがなすべきことは何なのでしょう。

大阪YMCAは、数多くの活動を行っていますが、「大阪YMCAの使命」をその活動の基盤としており、ここでもう一度確認したいと思います。

「大阪YMCAの使命」

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ・ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- ・すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見出すための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。
- ・未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育

てます。

- ・生命(いのち)を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- ・世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

昨年11月に行われた大阪YMCA大会では、学生やボランティア等の若い方が中心となって「Yアクターフォーラム」を開催し、日常活動と使命のつながりを考える時を待ちました。使命に示された言葉を、今の社会状況に照らし合わせて具体化する話し合いを通して、「世界中の若者をはじめ多世代の多様な人々がつながり、希望を語り合い、地域や家族と共にボランティア精神や、未来を築く子どもたちが育まれるYMCA」を皆さんが思い描きました。

この使命には、創立135年を迎える大阪YMCAに集う方々の想いが凝縮されています。今の社会は、創立当時から全く異なる様相を呈しています。しかし、創立時も今も使命に示されたYMCAの必要性は変わらず、むしろより大きくなっています。

2017年の大阪YMCAはその使命を再確認し、イエス・キリストによって新しく造られたものとして、「希望を持って共に生きる社会の実現」をめざす働きを一層進めてまいりたいと願います。

■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見出すための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

発行：末岡祥弘 編集：大阪YMCA広報室
〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-5-6
TEL 06-6441-0894 FAX 06-6445-0297
大阪YMCAのホームページでその他の情報をご覧ください。
URL: <http://www.wosakaymca.or.jp/>



No.696

2017
1-2月号

YMCA 大阪YMCA大会2016

Yアクターフォーラム

前半は、ゲームチェンジラボの稲村健夫さんらにより「持続可能な開発目標(SDGs)※」を実現させるために必要なことは何かを考えるゲーム「2030 SDGs」を実施。後半は、大阪YMCAの若手スタッフらのリードによって、YMCAの未来を考える時間をもちました。

YMCAで活躍している約120名のYアクターたちが集い、地球、YMCA、そして自分自身の未来を共に考え、自分たちこそが未来を変え、地球を救うチェンジメーカーであること、また、YMCAでの日頃の活動が「大阪YMCAの使命」にどのように結びついて未来に続くのか等について、学びを深めることができました。

今回のワークショップで未来として設定された2030年、皆さんはYMCAがどんな場所になってほしいと思いますか？

※SDGsとは
Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称で、人間、地球および繁栄のための行動計画としてかけられた宣言および目標。2030年に向けた17の大きな目標と169のターゲットから構成される。2015年に「国連持続可能な開発サミット」で採択された。



ゲームチェンジラボの稲村さんからSDGsについての説明を興味津々に聞くYアクターの皆さん

ゲーム「2030 SDGs」を通して、一人ひとりの動きで世界の大きな目標を達成していく体験をしました。



「大阪YMCAの使命」にある言葉を書いたカードから1枚選び、その言葉に関して普段のYMCAでの活動で感じていることや将来のことなどを、参加者同士で共有しました。

フォーラムの最後に、2030年のYMCAがどんな場所だったらいいか、一人ひとりの思いを書いてもらいました。

2030年のYMCA 今日みたいに 暖かい(あたたか)はもっえ 色んな場所から たくさんの方が集まる 会える 場所だったらいいな	2030年のYMCA 大阪だけでなく 日本だけでなく 世界中の人が 知っている 場所だったらいいな	2030年のYMCA どなたも認められ 生かされる 場所だったらいいな
2030年のYMCA 世界のひとが 寄り添い合える 場所だったらいいな	2030年のYMCA いつでも 戻って来られる 場所だったらいいな	2030年のYMCA たのしく、あたたかい Sustainable 場所だったらいいな
2030年のYMCA 自然とつながり 色んな人と 笑い合える 場所だったらいいな	2030年のYMCA 世代や国籍を 超えて安心して 関われる 場所だったらいいな	2030年のYMCA そのとき社会が必要と されていることに対し、 真摯に向かい合い取り組む 場所だったらいいな



大阪YMCA会員表彰

(敬称略)

■ 奉仕の書

・岩間 みどり

*奉仕の書は、長期にわたり顕著な活動をされた会員の方のご芳名を「奉仕の書」に記し、その働きを讃える賞です。

■ 永年継続会員

*長期にわたりYMCA運動に関わってこられた会員の方、2世代にわたってYMCA活動に携わってこられた方々の表彰です。

【10年継続会員】

・相澤 悠乃
・加賀屋 侑里
・小林 直樹
・澄川 菊代
・橋本 和子
・盛矢 詳
・伊藤 鉄矢
・加藤 さちよ
・鷲山 将一
・千葉 佐保
・古林 弘子
・友 岳之
・大野 真由美
・川谷 いずみ
・鮫嶋 知子
・中川 由美子
・松浦 恵子
・小笠原 純
・ケビン ジョンソン
・杉原 知恵
・西川 香
・松山 隆義

【25年継続会員】

・小島 英恵
・神社 洋一
・杉山 聡子
・田中 淳

【50年継続会員】

・宇都宮 垂穂
・山内 信三

【世代表彰】

・松下 広子
・松下 徹

50年継続会員として表彰された
宇都宮垂穂さんにスタッフが
インタビューしていますので、ご覧ください。

YouTube動画

<https://youtu.be/WCeLna4nbzw>

■ 特別表彰

*会員活動の発展に活躍された方や団体への表彰です。

・「にほさば会」…日本語学校の学生を支援するボランティアグループ

■ 特別献金感謝表彰

*YMCAの様々な活動のために特別な献金をいただいた方々に感謝状を贈呈いたしました。

【常総市水害被害復興支援募金】

・本家柴藤

【熊本地震緊急支援募金】

・柴藤 滋子
・株式会社テツタニ

【聴覚障がい青少年国際キャンプ(HHキャンプ)へのご寄付】

・清水 汎
・條 イサヨ
・脇本 博
・ワズメンズクラブ国際協会西日本区

【社会福祉法人大阪YMCAへのご寄付】

・佐古 至弘
・森石 利一

■ 大阪YMCA国際奨学金

大阪YMCA国際奨学金は、皆様からいただいたクリスマス献金により基金をつくり、大阪YMCAの日本語学校や国際専門学校で学ぶ成績優秀な留学生に給付している奨学金です。奨学生を代表してベトナムからの留学生グエン ホアイ トゥさんに目録の授与がなされた後、丁寧に流暢な日本語で感謝のスピーチがされました。



YMCA松尾台幼稚園 創立40周年 YMCAしろがね幼稚園 創立25周年

大阪YMCA学院創立40周年記念事業

大阪YMCAこども園事業部
やまち ひろのぶ
山地 弘伸

大阪YMCA学院創立40周年記念事業が11月26日に開催され、創立記念礼拝やスライドによる40年の振り返り、歌のコンサート等、在園児と保護者約1,000名で祝いました。1976年に猪名川町にYMCA松尾台幼稚園を開設して以来、今日まで教育に関わってこれたのは、保護者の皆様や地域の方々のご理解とご支援の賜物であり、教職員一同、改めて感謝する機会となりました。

また両幼稚園にて、卒園児が集う「第1回ホーム・カミングデイ」を開催しました。両園で約500名の卒園児とその保護者の方々、元職員が参加し再会に歓喜しました。小学1年から中高生及び成人の方々の参加等、教職員にとっても大きな喜びと励みとなりました。

この度の「再会」を機会に子育て支援グループの組織化、東アジアでの教育支援等、共に生きる社会の実現に向けてはたらきを強化・推進してまいります。



YouTube “ユースチューブ” 開設!

大阪YMCA公式YouTubeサイトにユースたちの活動紹介ページを設置し、見ていただくためのブースを開設しました。写真スライドや動画、さらにはユースの生の声による解説で大阪YMCAのユースたちの今に触れてみてください!

大阪YMCA大会2016 ユースチューブ YouTube動画 <https://www.youtube.com/playlist?list=PLyVTbQQLyZAJQ9ibnTp5O78Rf3wR-esKP>

ご受賞おめでとうございます

青少年育成大阪府民会議・大阪府 主催

「青少年賞」 HHリーダー会
 「青少年育成功労者賞」 熊本 宣子さん

ー ボランティアな働きに対してー

11月29日、青少年育成大阪府民会議・大阪府による「青少年賞・青少年育成功労者賞」授賞式が行われ、青少年賞 団体の部では、大阪YMCA聴覚障がい青少年国際キャンプリダー会(HHリーダー会)が他の6団体と共に受賞いたしました。大阪YMCAの国際的ネットワークを活かした交流キャンプを通し、参加者が自立し、キャンプ後も各方面においてリーダーシップを発揮していけるよう自らを革新するきっかけを提供していることが評価されたので受賞です。表彰式には、リーダー会を代表して笠井賢一郎さんが出席されました。

また、青少年育成功労者賞には、熊本宣子さんが受賞者の1人として選ばれました。熊本さんは、日本語ボランティアチューターとして、20年以上にわたって留学生の日本語会話のサポートをされ、卒業した学生とも継続的に交流、支援をされています。また、ホームステイの受け入れや新しくボランティアを始める方々にも指導者・育成者の役割を担われ、チューター活動の発展に大きく貢献されたことも評価されました。



大阪商工会議所主催

「大阪サクヤヒメ賞」 鍛治田 千文さん

ー ワークライフバランスのとれた女性に対してー

12月1日、大阪商工会議所主催「第1回大阪サクヤヒメ表彰」にて、大阪YMCA国際専門学校高等課程・YMCA学院高等学校副校長の鍛治田千文さんが「大阪サクヤヒメ賞」を受賞されました。「大阪サクヤヒメ表彰」は、大阪の経済や文化の分野で活躍する女性を支援する目的で創設され、鍛治田さんは、社会で輝く女性、仕事と育児の両立などワークライフバランスを実現している女性として、大賞1名に次ぐ16名のうちに選ばれました。



中日本地区YMCAグローバル教育研究会

グローバルな課題と私たちの繋がりを捉え、YMCAの活動を通して何が出来るかを考える時を持ちます。

日 時：2017年2月11日(土)～12日(日)

会 場：六甲山YMCA

定 員：30名

参加費：8,000円(食事・宿泊費を含む)

ファシリテーター：奥本 京子さん

(大阪女学院大学 国際・英語学部 教授)

問合せ：大阪YMCAグローバル事業推進室 TEL 06-6441-5088

申込締切：2017年2月3日(金)

PINK SHIRT DAY (ピンクシャツデー) 2017を実施します!

「いじめのない世界をめざそう」

大阪YMCAでは、昨年に引き続き「いじめ」をなくすための取り組みとして、全国YMCAと共にピンクシャツデー(PINK SHIRT DAY)2017を実施いたします。世界的な「いじめ」撲滅運動に連なることで、意識的かつ継続的に「いじめ」の問題に取り組む機会をつくり、地域社会と協力、連携して、より広く、推進力のある運動にすることを目指します。大阪YMCAにつながるすべての人に参加を呼びかけます。

PINK SHIRT DAY (ピンクシャツデー) とは

2007年カナダの2人の学生から
 瞬く間に世界中に広まった世界的いじめ反対運動。
 ピンクのシャツを来て登校した少年が「ゲイ」だといじめられた。
 それを見た2人の学生が50枚のピンクのシャツを
 友人・知人に配り、翌日登校した。
 学校では呼び掛けに賛同した多数の生徒がピンクのTシャツを着て登校。
 学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなった。
 そのエピソードがSNS等で世界中に広まり、
 現在では70ヶ国以上の国で活動が行われている。
 カナダでは毎年2月最終水曜日がPink Shirt Dayとして定められている。

内容

期間 2017年1月～3月4日(土)

- 2017年2月22日(水)、大阪YMCA全体で各事業所に関わる全ての人に参画を促します。
 (参加しなくてもいいということではありません。)
 協力可能な方は、ピンクのシャツなどを身に付けて一日を過ごしてください。
- 各事業所でも、「PINK SHIRT DAY (ピンクシャツデー)」に対する取り組みを実施します。



大阪YMCA早天祈祷会

■第285回 日 時…2017年1月20日(金)7:30～8:30

お 話…遠藤 通寛さん
 (大阪北ワイズメンズクラブ 会員)

■第286回 日 時…2017年2月17日(金)7:30～8:30

お 話…加藤 明宏さん
 (学校法人プール学院 事務局長)

場 所…大阪YMCA会館 10階 チャペル

■会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2016年11月度報告・敬称略

【新規会員】

岡田 梓
 森原 芽吹
 長田 睦未
 橋上 夕貴
 堀田 悠輔
 本間 美紗都
 松田 沙弥
 山中 将太

【継続会員】

石井 徳乃
 大島 佑香
 小川 明彦
 奥田 和弘
 金谷 美穂
 島崎 里彩
 瀬川 真以
 竹村 理翔

谷口 友那

田伏 葵
 中井 千尋
 西川 勝久
 平野 有梨佳
 森口 葵
 横田 憲子
 吉川 佐和子
 吉川 尚志

【新規賛助会員】

株式会社バーナル

【継続賛助会員】

株式会社亀井組
 有限会社杉本写真場
 レッキス工業株式会社